青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

会報　創刊号　　平成22年6月5日発行　　会長：嶋田博信

事務局：〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館　TEL＆FAX：0470-22-8271
公式サイト http://aoki-shigeru.awa.jp/　ブログ布良・相浜の漁村日記 http://ameblo.jp/mera-aihama/

ごあいさつ

明治 37 年夏、日本を代表する画家・青木繁が房州富崎村布良（現館山市）の小谷家（屋号：喜録）に滞在し、描いた《海の幸》は西洋画として最初の重要文化財に指定されました。また、昭和 37 年には青木繁の没後 50 年を期して、当時の田村利男館山市長が発起人となって画壇の皆様に呼びかけ、志しあふれる募金によって《海の幸》記念碑が建立されています。平成 10 年には、館山ユースホステル閉館に伴って、国有地に建つ記念碑に撤去命令が出されましたが、富崎地区コミュニティ委員会や連合区長会らによる保存運動により守られました。これらの出来事は、私たち富崎地区に暮らす住民の誇りです。

かつて漁村として栄えた富崎地区も、今は 500 世帯、人口 1,000 人、小学生 15 人という少子高齢集落となっています。私たちは、子どもたちに地域の誇りを語り継ぐためにも、小谷家住宅と記念碑を文化遺産として後世にのこしたいと願い、平成 20 年 9 月に「青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会」を発足しました。そして翌 21 年 10 月には、念願であった小谷家住宅の館山市有形文化財指定が実現しました。

現在、小谷家（当主：小谷栄氏）の皆様と話し合いを重ねておりますが、将来的には「青木繁《海の幸》記念館（仮称）」として地域活性化に寄与したいという意向もお聞きしています。そのためにも保存会としては、築 130 年になる小谷家住宅の修理を実現する募金活動や、地域振興活動などをすすめております。これまでにも様々な形でご協力をくださっている皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

このたび幸いにも東京・川崎方面では、美術大学や画家の皆様もNPO法人青木繁「海の幸」会を設立され、小谷家保存に向けた募金活動を始められました。地元保存会としては大変ありがたいことと喜んでおります。来年は青木繁の没後 100 年にあたりますので、記念事業として小谷家住宅の修理を始めることができれば幸いと希望を持っております。富崎地区内外の皆様には、ぜひご理解をいただき、さらなるご支援をお願い申し上げます。

会長　嶋田博信

保存会では、こんな活動をしています。

（１）保存・管理活動

・小谷家住宅周辺の雑木を伐採しました。
・年に4回、記念碑の草刈りをしました。
・小谷家との覚書を交わしました。
・小谷家修理のためのアドバイザー会議を開きました。

（館山市により、記念碑そばに説明看板が設置されました。）

（２）広報・普及活動

・ロックシティ館山で開催された千葉県市民活動フェスタ in 南房総に出展 PR しました。
・ジャスコ館山店の社会貢献活動 「幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録。 毎月１１日に買物をしたお客様が保存会 BOX に黄色いレシートを入れ、年間合計額の1％が贈呈されます。今年は 5,200 円でした。

・インターネットを利用して、富崎地区の情報を発信しています。テレビで相浜漁協のバーベキューが放送されてから、ホームページを見てくれる人が増えました。日本中の人とつながって、うれしいですね。

＊保存会の公式ホームページ　http://aoki-shigeru.awa.jp/
＊ブログ布良・相浜の漁村日記　http://ameblo.jp/mera-aihama/
＊漁村が誇る3つの ″あ〃 のまちづくり　http://bunka-isan.awa.jp/AAA/

保存会事務局のNPO法人安房文化遺産フォーラムが、富崎地区を対象として国土交通省のモデル事業に選ばれました。事業名は「漁村が誇る3つの ″あ〃 のまちづくり～青木繁・安房節・アジのひらき」です。この事業で作成した富崎のイラストマップ（B2判）やレシピ集「おらがごっつお富崎」（A5冊子）が富崎地区コミュニティ委員会に寄贈され、全世帯に配布いたしました。とても好評です。お友達や親戚に贈りたい方は、マップ 300 円、レシピ集 600 円でお分けしています。

（３）地域振興活動

・漁村の食文化アンケート調査を富崎地区の皆さんにご協力いただきました。
・保健推進員の協力で、市民向けの調理実習（アジの開きなど）をおこないました。
・レシピ集「おらがごっつお富崎」を編集しました。・漁村の生活文化を継承するために安房節の踊りを習いました。
・NPOの富崎ガイドをお手伝いして、お客様と交流しながら、地域をPRしました。

（４）募金活動

・いろいろな活動の機会を通して、地区住民や来訪者の皆様に保存会の趣旨を伝え、募金（1口 1,000 円）のお願いをしています。 これまで2年間で、908648円の募金をいただき、そのなかから事務経費や活動費を差し引き、修理積立金は 200,000 円となっています。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。
・募金伝票つき案内書をお友達やご親戚の方に配布してくださる場合は、保存会までご連絡ください。

＊郵便振込口座 00150--6-616201　名義：青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会

＊ お知らせ ＊

富崎のごっつおを作ってみんべぇ、食ってみんべぇ

【日時】平成22年7月7日（水）　【会場】富崎地区公民館　　【材料費】300円
【メニュー】しのべ竹の赤飯、しのべ竹キムチ炒め、つるなのおひたし　など
【申込み】地域振興係（吉田）:0470－28－0951　　【定員】15名
【協力】館山市保健推進協議会富崎支部（伝達講習）

富崎を歩いてみんべぇ、眺めてみんべぇ

【日時】同年 10 月頃予定　　※詳細は後報、乞うご期待！
【コース】安房自然村の丘に登り、男神山・女神山と太平洋の島々を眺めてみましょう。

富崎地区コミュニティ委員会へ、ゆかりの芸術品をご恵贈いただきました。

彫刻家・船田正廣氏より、石膏レリーフ『刻画　海の幸』（右）

館山中村屋（長束清実社長）より、中村彝（つね）『海辺の村（白壁の家）』複製画（左）

保存会の役員はこんなメンバーです。よろしくお願いいたします。

【会長】嶋田博信　　【副会長】村田　猛、天野　努　　【会計】佐野清彦、鈴木瑞江
【監事】黒川彰宏、浅井　信　　【事務局長】愛沢伸雄　　【事務局次長】池田恵美子

【運営委員】青木美代子、天野美津子、磯部勲、小谷登志江、小谷信雄、勢見勝美、田村喜三男、出口忠明
豊崎榮吉、船田正廣、森　成吉、安田美恵子、山口栄彦、吉田年一、龍崎敦　　（上記9名を含む）